第 4 回荒尾駅周辺地区バリアフリー基本構想策定協議会　議事録要旨

開催日：令和 6 年 10 月 25 日（金）14：00～14：30
場所　：荒尾市役所 31 号会議室
出席者：荒尾駅周辺地区バリアフリー基本構想策定協議会委員 11 名、オブザーバー3 名
事務局：都市計画課　：畑田課長、小宮課長補佐、前畑副主任
産業振興課　：松尾課長、五藤係長、垂水副主任
総合政策課　：中山課長
福祉課　：浦浜課長

議事	内容
第 3 回協議会の振り返り	・第 3 回協議会の振り返りを事務局から説明 ・説明に対しての反対意見は特になし
（1）荒尾駅周辺地区バリアフリー基本構想について	・課題と対応方針、実施すべき特定事業、推進体制について事務局から説明 ・説明に対しての反対意見は特になし ・主な意見は以下の通り
全体	・**委員：**まちづくりにおいて、市が活動する地域住民に寄り添って支援することで、地域住民をやる気にさせ、責任感を持っていただくことが重要である。 ・**委員：**産業振興課が駅前の利活用検討を進めているため、バリアフリーとセットで動かしてプロモーションしていく必要がある。参考資料へ駅周辺の取組みを掲載することでアピールできる。 ・**委員：**地域ぐるみで JR 九州や他の民間企業と連携していることを適切な形で情報提供していくことが大事である。 ・**委員:**バリアフリーを通じて街の活性化をしている事業者と組んで賑わいを創出していけたらよい。 ・**委員：**歩きたくなる街には、バリアフリーや景観が重要である。移住定住には、まちのデザインを検討する中で若い女性の意見を反映することが重要である。 ・**委員：**所属団体の会議で、駅周辺のバリアフリー化の話をした。荒尾駅は駐車場が大きく博多や熊本へ行ける便利な駅であるため、みんな喜んでいる。
パブリックコメントについて	・パブリックコメントは 11/11～12/10 の期間で実施し、大幅な変更が発生した場合は第 5 回協議会を実施する。軽微な修正であれば会長一任とする。